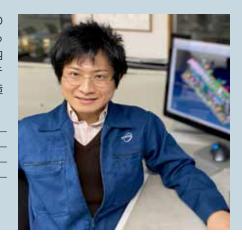
#### 愛知県知多市

# IOTとデジタル技術でメーカー連携 新たな取組で金型製造の生産性向上

1980年にプレス加工メーカーとして創業し、金型設計製造から自動車向け部品のプレス加工、タップ加工まで一貫して受注できることが強みである。主力製品である車の窓に使用するサッシブラケットは不良率ゼロレベルの品質を達成している。国内各地の中小金型メーカーと連携しIOTとデジタル技術を活用した今までにないシステム「中小金型メーカー版コネクテッドインダストリーズ」を構築することで金型製造の生産性向上を進めている。

●所在地	愛知県知多市金沢字郷中120番地の2
●電話/FAX	0569-42-0939 / 0569-43-8039
<b>URL</b>	http://www.uchida-mc.co.jp/
●代表者	代表取締役 森 光賢

●設立	1980年
●資本金	500万円
●従業員数	21名



### 複数メーカーが得意分野を担当し高付加価値金型の受注実現

高付加価値金型の製作には高額な設備が必要なため、従来は大手金型メーカーしか制作できなかったが、同社が主体となりIoTとデジタル技術を活用した金型共同受注システムを構築し、複数の中小メーカーが得意分野を持ち寄ることで設計製作の受注に成功している。同社は、全体の取まとめとプレス加工の強みを生かし試作を担当している。今後、参加企業の増加で連携体としての技術力の向上が見込まれ、同社も強みを活かした分野を担当することで高付加価値金型の受注・生産の増加を実現できる。



高付加価値金型

## 連携体の地域・業種を越えた受注活動で仕事量の平準化を実現

金型の設計・製作には繁忙期と閑散期があり、金型を必要とする業界により時期が異なることに着目し、複数メーカーが地域と業界を超えて連携することで、設備の稼働率を共有・平準化し効率化を図る。安価な方式のIoTデバイスを開発し、各社のデータをクラウドに送信し分析することで、各社設備の稼働率を数値化・見える化している。受注した金型は、Webで各社の設備の稼働状況を確認し、各社の強みと仕事量に応じて共同で設計・製作を行っている。この取組により低価格でも高い利益率を実現している。



クラウドIoTを利用したメーカー連携

# 若手技術者の武者修行と、働くママ応援フレックス制度

通常金型設計者が育つには10年かかるといわれている。同社では若手技術者を3年で金型設計者に育成するために、3次元CAD、CAE解析の教育を行うとともに、連携している企業に派遣し、金型設計・調整の経験を豊富に積ませる制度を作り運用している。また、人手不足対策と地元の雇用創出を図るため「働くママ応援フレックス制度」を導入し、地域の働く女性活用を行っている。これは目標出勤日数を定め、家庭の状況に合せて曜日などは自由に変更可能なパートタイム勤務制度であり、効果をあげている。



若手技術者の金型設計・調整武者修行